GLOBAL REFUGEE FORUM 2023
グローバル難民フォーラム2023に向けた
ユースマニフェスト
YOUTH MANIFESTO

私たち、離散した若者のチェンジメーカー・グループは、

世界難民フォーラムに出席するリーダーたちに私たちの声を届けるために、集まりました。他のユースやアライと共に、私たちは、私たちの声が力強く不可欠であることを強調します。

私たちはグローバルな問題から大きな影響を受けており、未来のビジョンを共有したいと考えています。私たちは、単に私たちの声を聞いてもらうだけでなく、グローバルな変革の決定的な要因となることを望んでいます。

私たちは、私たちの経験について、正直で透明性があります。.

若い難民の支援方法を根本的に変えたい。
私たちの要求が行動を引き起こすことを望んでいます。



さまざまな特性に基づく差別、

性差別、あらゆる形態の暴力、人種差別、そして機会の欠如は、私たちユース難民が直面する課題の一部です。

難民以上に難民問題に詳しい専門家はいません。私たちは、新たな視点、革新的なアイデア、そして自身の未来を切り開く決意をもっています。意思決定プロセスに私たちの声を取り入れることで、私たちが直面する独自の課題に対処する、効果的な解決策を共に創出できるはずです。

私たちの声は重要であり、変化を求める

私たちの緊急の呼びかけを考慮してもらうことが肝要です。

私たちは、ユースと緊密に協力し、政策変更を支援し、資金を集め、すべてのユース難民にとってより包摂的で明るい未来をもたらすプログラムを実施することを求めます。ユースは、影響力のある解決策をもたらすことのできる変革者であり、チェンジメーカーなのです。

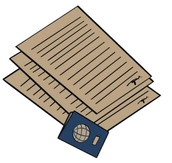
法律・政策改革に向けた行動への呼びかけ

すべての人間には、尊厳ある安全な生活を営む権利があり、
恐怖のない健康で持続可能な未来を手に入れる権利があります。
文書へのアクセスと移動の自由は、
前向きな社会変革をもたらす強力な手段となり得る、
不可欠な権利です。



文書、法的認知、移動の自由がなければ、

私たちは基本的な権利を奪われ、教育を受けたり、合法的に働いたり、社会に完全に溶け込んだりする機会を失ってしまいます。
文書へのアクセスが認められなかったり、アクセスを制限するような政策は、私たちを弱い立場に置き、収容所や拘置所に閉じ込め、可能性を狭めていることになります。文書へのアクセスがあったとしても、移動の自由を制限する避難所政策は、基本的人権、幸福、将来の展望へのアクセスを妨げるのです。



法律や規則の矛盾は、連携と透明性の欠如と相まって、

私たちユース難民が官僚主義的なプロセスに直面することを意味します。

そのため、重要な情報や身分証明書を入手することが難しくなっています。各国政府は国際難民条約の履行を表明し、効率的な保護制度の実施を約束し、難民にサービスへのアクセスに関する情報を提供しますが、実際のところはしばしば不十分であり、ユース難民の脆弱性を悪化させています。

私たちは、受け入れ国政府と国際社会に対し、

あらゆる多様性を持つユース難民のために、文書を提供し、移動の自由を確保し、サービスへのアクセスを容易にする具体的な措置を講じることを要求します。

私たちは、難民に関する各国政府の政策を、難民保護に関する国際公約と整合させ、あらゆる背景を持つ避難民のユースの幸福を優先するよう、制度的変化を要求します。

私たちは、自身のニーズの特定に積極的に関与し、庇護手続き中、および庇護手続き後に、自身が尊重され、明確に意思疎通される権利を持つことを望みます。

私たちは、住居、雇用、医療的・心理的サポート、教育を受ける機会が遅滞なく利用できることを望みます。

私たちは、難民認定にかかる審査の期間を短縮し、庇護希望者および難民が、権利を侵害されるのではないかと、絶えず怯えることなく新たなスタートを切れるようになることを強く求めます。

これらの取り組みを通じてのみ、私たちは受け入れ国において、自立し、すべての人にとってより公平で包摂的な社会を育むことができるのです。



教育に対する行動への呼びかけ



トランスフォーマティブな変化を

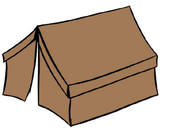
私たちは、性別、年齢、経歴に関係なく、すべてのユース難民が質の高い教育と平等な機会にアクセスできることを求めます。

教育と雇用は特権ではなく、すべてのユースの基本的権利であるべきです。

とりわけユースの難民女性への支援を

私たちは、とりわけユースの難民女性への支援に注力すべきと考えます。特に早すぎる結婚した人の教育の継続に注力している。女の子やユース女性が直面する明らかな課題を認識し、ジェンダー平等と多様性は、すべての取り組みの中心に据えられるべきである。

政治リーダーはただちに行動を起こすべき



教育や雇用は単なる願望ではありません。

将来への希望の基礎となるものであり、未来への入り口であり、一度は阻まれた夢を復活させるものなのです。

私たちは、政府、NGO、人道支援組織、国際社会、その他の教育機関や民間機関に対し、次のことを強く求めます。

- すべての難民に包摂的かつ公平な教育機会を保障するため、持続可能な財政的・物質的資源を配分すること。
- 難民キャンプや居住地にいるユース難民が必要な書類を受け取り、教育を受けられるようにすること。
- すべての取り組みと計画においてジェンダー平等と多様性を優先し、難民の女の子に、その環境と経験に合わせた、アクセスしやすく質の高い教育を提供すること。
- 若い母親とその子どもを支援し、彼らが教育を修了し、適切な精神的ケアを受けられるようにすること。
- ジェンダー・トランスフォーマティブ教育を推進することにより、難民の女の子やユース女性に対する暴力に取り組むこと。専門的なメカニズム、政策、介入によって、性的搾取と虐待を積極的に防止し、対処すること。
- ユース難民が雇用を確保し、自活できるような法律や政策を確立すること。
- ジェンダーに基づく暴力に対処するプログラムを含め、エビデンスに基づく教育・起業プログラムを実施すること。

すべてのユースが暴力のない尊厳ある生活を送るために



どんな境遇にあろうと、すべてのユースが成長できる世界を一緒に作りましょう。

ユースの声の力は控えめにはできない。このマニフェストが示すのは、私たちは政策決定の受動的な受け手ではないということです。

私たちは能動的で、十分に情報をもっているステークホルダーの一員であり、自分たちの生活体験に由来する独自の洞察力と具体的な提言内容を示すことができます。

単に包摂性の観点から、私たちに意思決定のテーブルの席を与えるということではなく、より効果的で包括的かつ持続的な解決策を確保するために、私たちが意思決定に参加することは、戦略的に必要なことなです。

私たちのメッセージをうけとめ、ユース難民に機会の扉を開くことで、私たちは変革への道を切り開くことができるはずです。私たちの積極的な参加と関与が、この本質的な変化を促し、より明るく抱摂的な未来を形作ることを、私たちは強く信じている。

マニフェスト作成者について

このユースマニフェストは、多様な背景と年齢の移住経験を持つ、ユースアドボケイトたちとのオンラインワークショップを通じて共同で作成された。

彼らが言及したい課題は数多くあったが、ユースたちの投票を経て、行動への呼びかけのトップ2が選ばれた。

以下は、このプロセスに不可欠な存在であり、氏名の公表を承諾してくれた数名のユースチャンピオンの名前である。私たちは、この重要なマニフェスト作成のために協力してくれたユースたちと協力団体に、心から感謝の意を表したい。

ユースアドボケイト

- Hawa, 25歳
- Anton, 20歳
- Hasan, 24歳
- Rahildaris, 23歳
- Oricia, 24歳
- Sarah, 22歳
- Zawadi, 20歳
- Damien, 20歳
- Leidy, 23歳
- Paul, 17歳
- Paula, 16歳
- Sedra, 15歳
- Anthoan, 18歳
- Maher, 21歳

PARTNER ORGANIZATIONS

PLAN INTERNATIONAL

GOODDLER FOUNDATION

NRC NORWEGIAN REFUGEE COUNCIL

TRANSFORM EDUCATION hosted by UNGEI

GRYN GLOBAL REFUGEE YOUTH NETWORK

REFUGEE EDUCATION COUNCIL

DESIGNED BY A YOUTH-LED AGENCY

Stories at the Table